

平成 21 年 5 月 7 日

各 位

大阪府中央区瓦町三丁目 5 番 7 号
 株式会社アドバンスクリエイト
 代表取締役社長 濱田 佳治
 (コード番号 8798)
 (問合せ先) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 村上浩一
 電話 06-6204-1193

平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間及び通期の連結・個別業績予想の 修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 14 日の決算発表時に公表した平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の連結・個別業績予想の修正並びに平成 21 年 9 月期通期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 21 年 9 月期連結業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 9 月期 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円，%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|-------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 3,600 | 220 | 140 | 100 | 937 円 18 銭 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 3,104 | 261 | 115 | 72 | 675 円 88 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | △496 | 41 | △25 | △28 | - |
| 増 減 率 (%) | △13.7 | 18.6 | △17.8 | △28.0 | - |
| (ご参考) 前年中間期実績 (平成 20 年 9 月中間期) | 3,566 | 233 | 114 | △106 | △942 円 34 銭 |

(2) 平成 21 年 9 月期 通期（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円，%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|---------------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 7,800 | 750 | 550 | 400 | 3,748 円 72 銭 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 6,400 | 750 | 550 | 400 | 3,748 円 72 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | △1,400 | - | - | - | - |
| 増 減 率 (%) | △17.9 | - | - | - | - |
| (ご参考) 前年通期実績 (平成 20 年 9 月通期) | 6,689 | 122 | △131 | △623 | △5,639 円 77 銭 |

2 連結業績予想数値の修正の理由

(1) 平成 21 年 9 月期 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）

売上高につきましては、厳しい景況感の影響から「保険の見直し」機運の高まりと共に、取扱件数は順調に伸びているものの、1 件当りの保険料単価は低減傾向にあり、結果として単体での保険代理店収入が減少した事及び、損害保険子会社のアドリック損保の取扱保険料が当初予想より下回った事等が重なり当初予想よりも 496 百万円減少し 3,104 百万円となる見込みであります。一方営業利益につきましては、売上の減少以上に経費削減施策が進捗し、当初の予想を若干上回る 261 百万円（対前年同期比 27 百万円の改善）を見込み、経常利益はアドリック損保の繰延資産償却により営業外費用が増加したことから当初予想を下回る 115 百万円（対前年同期比 1 百万円の改善）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、当初予想を若干下回りますが、72 百万円（対前年同期比 178 百万円の改善）となり第 1 四半期に続いて、上場来初めて第 2 四半期累計期間においても最終利益の黒字化を達成できる見込みであります。

(2) 平成 21 年 9 月期 通期（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 9 月 30 日）

通期におきましても、引き続き厳しい景況感が予想されること及びアドリック損保の取扱保険料を保守的に見積り直した結果、売上高は期初の予想から 1,400 百万円下回る 6,400 百万円となる見通しです。一方、収益構造は引き続き改善傾向が見込まれますので営業利益、経常利益、当期純利益につきましては期初予想から変わらない見通しです。

3 平成 21 年 9 月期個別業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円，％）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 3,200 | 300 | 200 | 150 | 1,405 円 77 銭 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 2,961 | 256 | 181 | 101 | 956 円 00 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | △239 | △44 | △19 | △49 | - |
| 増 減 率 (%) | △7.4 | △14.6 | △9.5 | △32.6 | - |
| (ご参考) 前年中間期実績 (平成 20 年 9 月中間期) | 3,418 | 296 | 217 | △38 | △340 円 58 銭 |

(2) 平成 21 年 9 月期通期（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 9 月 30 日）

（単位：百万円，％）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|---------------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 7,000 | 900 | 700 | 450 | 4,217 円 31 銭 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 6,000 | 900 | 700 | 450 | 4,217 円 31 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | △1,000 | - | - | - | - |
| 増 減 率 (%) | △14.2 | - | - | - | - |
| (ご参考) 前年通期実績 (平成 20 年 9 月通期) | 6,403 | 221 | 55 | △476 | △4,309 円 19 銭 |

4 個別業績予想数値の修正の理由

(1) 平成 21 年 9 月期 第 2 四半期累計期間（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）

営業収益につきましては、前述の連結予想で記載した通り、厳しい景況感の影響から「保険の見直し」機運の高まりと共に、取扱件数は順調に伸びているものの、1 件当りの保険料単価は低減傾向にあり、結果として単体での保険代理店収入が減少した事により当初予想よりも 239 百万円減少し 2,961 百万円となる見込みであります。一方営業利益・経常利益につきましても連結同様、経費削減施策が進捗し、ほぼ当初の予想通り営業利益で 256 百万円（対前年同期比 39 百万円の減少）、経常利益で 181 百万円（対前年同期比 35 百万円の減少）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、当初予想をやや下回り 101 百万円（対前年同期比 140 百万円の改善）となる見込みで、単体におきましても第 1 四半期に続いて、上場来初めて第 2 四半期累計期間においても最終利益の黒字化を達成できる見込みであります。

(2) 平成 21 年 9 月期 通期（平成 20 年 10 月 1 日 ～ 平成 21 年 9 月 30 日）

通期におきましては、引き続き厳しい景況感が予想されることから、営業収益のみ期初の予想から 1,000 百万円下回る 6,000 百万円となる見通しです。一方、収益構造は引き続き改善傾向が見込まれますので営業利益、経常利益、当期純利益につきましては期初予想から変わらない見通しです。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提にしています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上